

第 78 回全九部総会開催
平成 28 年 3 月 12 日（土曜日） 福岡県福岡市 八仙閣



全九州自動車部品商組合（川原会長、(株)川原自動車部品商会）は 3 月 12 日（土）14 時半より、福岡県福岡市博多区の「八仙閣」にて第 78 回全九部総会を開催しました。

出席者は 30 名（理事監事 10 名、及び、賛助会員 14 社含む）。全部協からは新戸部理事長と船場専務理事が出席しました。

<川原会長挨拶>

厳しい販売状況でもリビルド商品等新しい商材も増えてきている。我々部品商はそれをもう一步進め、従来のベルト等の関連商品を積極的に販売していきたい。ピンチをチャンスとして我々地域部品商は問屋メーカーと共に、安心安全を考えユーザーの皆様にもっと積極的に優良部品をアピールし、さらに皆様とともに新しい市場を開拓して切り開いていきたいと思っております。

<来賓挨拶：全部協新戸部理事長>

日頃は全部協の活動にご理解頂き、誠に有難うございます。

現在トヨタ共販等の資料によると、部品商は約 900 社とされ、その販売能力は 3,000 億以上と思われま



左から、船場専務（全部協）、斎藤社長（直方自動車商事）、
新戸部理事長（全部協）

昨今は軽自動車を中心となり部品需要もありましたが、部品の耐久性も上がりベルトは 1 本掛けで 8 万キロの寿命と伸び、プラグもパットも寿命が伸びています。またパットに至っては個体も小さくなってきて 値段も低下傾向にあります。また良いことではありますが、アイサイト等の安全装

置により、事故率も半分以下まで下がっている車種もあり一般部品の販売が減少しております。

自動車そのものの改革も大きく進歩していますが、流通においてもアマゾン等の部品売り上げも近年一説によると、1,540 億円、さらにこの先の目標としては 3,300 億円を見据えているという。さらに今まで部品商とともに来たはずのブロードリーフも、自らネット販売に参入しようとしている動きがあります。ある意味WEBによりパンドラの箱が開かれ、早いスピードで業界の変革が起ころうとしているという事です。

これをピンチととらえるか、チャンスととらえるかですが、全部協メンバーはチャンスととらえ、これからの大きな飛躍の糧となるよう頑張っていきますので、皆様のご協力を宜しくお願い致します。

<議事>

- 1, 平成 27 年度経過報告
- 2, 決算報告
- 3, 監査報告
- 4, 次年度予算案
- 5, 全部協活動状況報告
- 6, その他の議事
 - 1) ホンダパーツ九州の値上げについて
 - 2) ブロードリーフと日本郵便との事業提携について
 - 3) 全部協プライムニュースの紙面媒体計画について
 - 4) 共同購買について
 - 5) 各県報告（鹿児島県、大分県、熊本県、福岡県）



全九部総会（全九部理事役員の方々）

<次回開催県について>

次回は宮崎で開催されることが確認されました。

終了後 賛助会員含めて懇親会が開催されました。